

教育研究データ			
1. 氏名	西村 豊		
2. 生年月	1986年3月		
3. 取得学位	教職修士（専門職）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2023年4月～現在に至る	①学生が授業内容を振り返ることができるように支援している。また、授業を録画し学生が復習できるようにしている。 ②オフィスアワーにおいて授業等の質問を受け付けている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2024年6月20日 2024年8月29日	①「2024年度前期学生の授業評価に基づく公開授業」において「教材の研究と開発（生活）」の授業を公開した。 ②「2024年度夏期FD・SD研修会」において「学生が主体的に学び、「授業」の分析・開発力を高めるにはいかに「授業」をすべきか？－「教材の研究と開発（生活）」の実践を通して－」というテーマで発表した。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①板書&展開例でよくわかる 主体的・対話的で深い学びでつくる365日の全授業 中学校社会歴史的分野	共著	2023年 3月	明治図書出版
②セルフスタディを実践する 教師教育者による研究と専門性開発のために	共著	2024年 3月	学文社
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
①歴史的類推を基盤とした歴史の教訓に学ぶ授業モデルの開発－単元「震災復興」を事例として－（査読有）	単著	2019年 12月	社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』31号, pp.11-20
②学習文脈は高校生の歴史授業に対	単著	2021年	全国社会科教育学会『社会科研究』

する意識にどのような影響を与えるか？－多様な進路に対応したクラスを設ける X 高等学校を事例として－ (査読有)		11月	95号, pp.37-48
③「道徳的反応」を基盤として歴史人物の英雄的行動に学ぶ歴史授業モデルの開発－高等学校日本史・小単元「後藤新平の復興事業」を事例として－ (査読有)	単著	2021年 12月	社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』33号, pp.71-80
④教師志望学生 of 生活科教育観をどのように再構築すべきか－ダブルループ学修に依拠した「教科の学び(生活)」の開発・実践－	共著 (FA)	2024年 3月	広島文教大学教育学会『広島文教教育』38巻, pp.15-24
⑤小学生の歴史への向き合い方の特質に関する検討－教師の意図との差異に着目して－	共著 (FA)	2024年 12月	広島文教大学『広島文教大学紀要』第58巻, pp.53-63
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
①高等学校の歴史学習に対する生徒のレリバンスに関する研究－学習文脈が異なる高校3年生の語りに着目して－		2024年2月17日	第35回社会系教科教育学会研究発表大会, 自由研究発表, 兵庫教育大学
②The Potential for AI Application in History Education Based on Japanese High School Students' Perceptions of History Lessons		2024年12月7日	2024 ISSA(The International Social Studies Association) Annual Meeting
(4) 所属学会			
①全国社会科教育学会			
②日本社会科教育学会			
③社会系教科教育学会			
④日本生活科・総合的学習学会			
⑤日本教師教育学会			